

製品名: L型 Ca++ CP γ 7 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13480**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	40kDa

抗原情報

遺伝子名	CACNG7 CACNG7; Voltage-dependent calcium channel gamma-7 subunit; Neuronal voltage-gated
別名	calcium channel gamma-7 subunit; Transmembrane AMPAR regulatory protein gamma-7; TARP gamma-7
遺伝子 ID	59284.0
SwissProt ID	P62955
免疫原	抗血清はヒト CACNG7 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 198-247

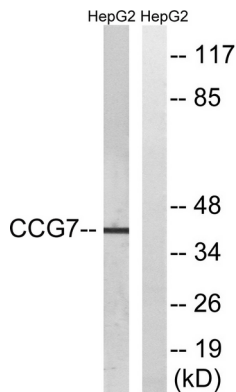
背景

カルシウム電位依存性チャンネル補助サブユニットガンマ 7 (CACNG7) ホモサピエンス この遺伝子によってコードされるタンパク質は、II型膜貫通型 AMPA 受容体制御タンパク質 (TARP) です。TARPは AMPA 受容体の輸送とチャンネル開閉の両方を制御します。この遺伝子は、機能的に多様な 8 メンバーからなる PMP-22/EMP/MP20 ファミリーのタンパク質サブファミリーの一部であり、I型 TARP とカルシウムチャンネルガンマサブユニットという 2つのファミリーメンバーと同一のクラスターに位置しています。[RefSeq 提供、2010年12月],機能: カルシウムチャンネルを不活性化 (閉鎖) 状態に安定化させると考えられています。 ,類似性: PMP-22/EMP/MP20 ファミリー、CACNG サブファミリーに属します。 ,サブユニット: L型カルシウムチャンネルは、 $\alpha 1$ 、 $\alpha 2/\delta$ 、 β 、 γ の5つのサブユニットで構成されています。 ,組織特異性: 広く発現しています。 ,

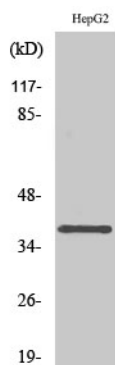
研究分野

MAPK_ERK_Growth;MAPK_G_Protein;心筋収縮;肥大型心筋症 (HCM);不整脈性右室心筋症 (ARVC);拡張型心筋症;

画像データ



CACNG7 抗体を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



L型 Ca⁺⁺ CP $\gamma 7$ ポリクローナル抗体 (1: 1000 希釈) を用いた各種細胞のウェスタンブロット解析